

3類型	鋳工業品	通巻番号	5-21-006
地域資源名	信楽焼	認定日	平成21年7月1日
地域	滋賀県甲賀市	所管省庁	経済産業省

事業名: 信楽焼(陶器)の土味に、欠けにくい磁器の良さを取り込んだ食器の開発・販売

会社名: 株式会社藤陶
 連絡先: TEL: 0748-83-1177
 FAX: 0748-83-1200

所在地: 滋賀県甲賀市信楽町長野
 1485-68
 H P: <http://www.eonet.ne.jp/~fujito>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・信楽は1200年以上の歴史を誇る陶器の産地である。
- ・食器は歴史が浅いが、独特の風合いから一部の高級料理店などでは好まれて使用されている。その一方で「欠けやすい」、「吸水率が高くカビが生えやすい」といった土もの(陶器)の欠点があり、業務用として広く普及するには至っていない。
- ・本事業では、陶土の配合(独自の土のブレンドに加え、アルミナの配合)と生産方法(焼成温度を高く設定)の見直しにより、従来の信楽焼の欠点を克服した器を開発し、食器として全国に販売していく。



【欠けにくい信楽焼食器】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・本商品は、強度および吸水性においては磁器に近いが、暖かみのある信楽焼の土味がそのまま残っているところに最大の特徴がある。
- ・また、信楽産地は、需要の低迷の中、窯を小型化するなど小ロット生産に適した生産方法に変わっており、オリジナル食器の受注生産に対応できる仕組みをもっている。

◆市場性

- ・欠けやすいなどの欠点をクリア出来れば、業務用食器における土もの(陶器)の需要はかなり大きいと考えられ、急速に普及していく可能性は十分にある。

◆販路

- ・飲食業向けは、展示会およびHPから販売候補先企業・店舗を見つけ出し、個別に営業活動を行っていく。消費者向けは、当社のこれまでの流通経路を活用する。

地域資源における関係事業者との連携

- ・製造は信楽焼の窯元である菱三陶園に委託し、協力しながら、継続的に商品の改良・改善に努める。
- ・欠けにくさについてのさらなる研究、釉薬の開発は、滋賀県立窯業試験場と必要な取り組みを進めていく。
- ・商品デザイン、ネーミング、市場調査、販売戦略は、滋賀県立大学から指導を受ける。